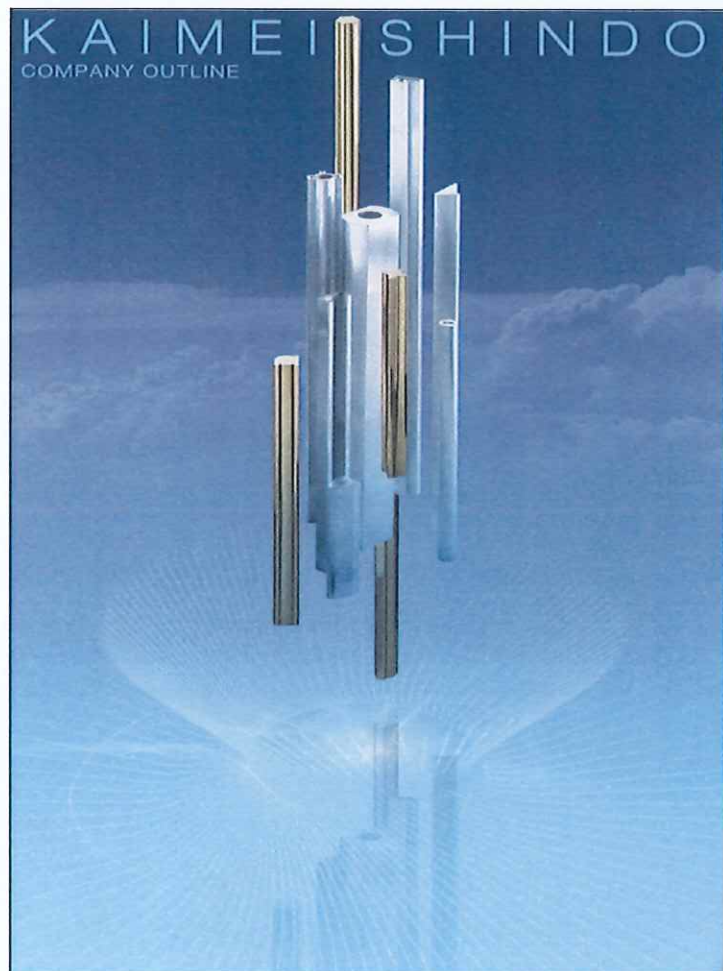


開明伸銅株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年5月～2024年4月)



認証番号0010550



作成日 : 2024年8月31日

発行責任者：管理本部総務課 上道 朱美

目 次

環境経営方針	1 頁
組織の概要	2 頁
認証・登録の対象組織・活動	2 頁
主な環境負荷の実績（全社合計）	2 頁
EA-21 推進組織図	3 頁
環境経営目標及びその実績：本社工場	4 頁
環境経営目標及びその実績：東京営業所	5 頁
環境経営目標及びその実績：大阪営業所	6 頁
基準年度と今年度実績：全社合計分	7 頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：本社	8 頁～11 頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：東京	12 頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：大阪	13 頁～14 頁
環境活動や地域社会への活動紹介	15 頁
SDGs 宣言書	16 頁
カーボンニュートラル委員会の活動	17 頁
環境関連法規等の順守状況と違反、指摘の有無	18 頁
代表者による全体の評価と見直し・指示	19 頁

基本理念

当社は「非鉄金属技術提案業」として環境問題に積極的に取り組みます。京都に生まれ、京都で育った企業として環境問題に取り組み、地域社会との共存共栄を図り、資源の再利用、有効利用を通して国際社会に貢献し、地球環境の保全に努めます。

環境方針

当社は関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関、団体・地域等の要請に協力し、事業活動における地球環境の保全に関する方針を以下の通り定めます。

1. 非鉄金属加工に関する事業において環境に与える影響を削減する為に次の事項について優先的に取り組みます。

- (1) 生産工程における廃棄物の削減に努めます。
- (2) 社内での歩留向上や働き方改善に取り組み、電気使用量・化石燃料使用量の削減に努めます。
(2030年CO₂削減目標→2013年度比38%削減)
- (3) 化学薬品管理体制を構築し、削減に努めます。
- (4) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
- (5) 資源の再利用を推進すると共に、環境製品開発・販売を積極的に推進します。
- (6) 環境保全の意識向上の為に、教育啓蒙活動に努めます。
- (7) 加工品事業に取り組み、運賃削減を通じた化石燃料使用量を削減します。

2. SDGs への取り組み

SDGs の行動目標を宣言し、持続可能な環境社会に向けた取り組みを行います。

2. 環境経営マネジメントシステムの確立と継続的改善

この環境経営方針に基づいた環境経営マネジメントシステムを確立し、その継続的改善に努めます。

3. 環境経営方針の周知・徹底

この環境経営方針を全ての全社員に周知徹底すると共に、当社ホームページ及び文章等を以って一般に開示します。



制定：2014年7月31日

改定：2022年9月 1日

開明伸銅株式会社

代表取締役 岡村 圭一郎



【組織の概要】

(1) 名称及び代表者名

開明伸銅株式会社

代表取締役 岡村 圭一郎

(2) 所在地

本社：京都府亀岡市大井町並河3丁目10番1号

東京営業所：東京都港区芝大門二丁目3番6号 大門アーバニスト5F

大阪営業所：大阪市淀川区西中島3-21-13 新大阪日新ビル10F

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：管理本部 本部長 岩岡 伸一 TEL：0771-23-6111

担当者：管理本部総務課次長 上道 朱美 FAX：0771-23-8811

E-mail：kanri@kaimeishindo.com

(4) 事業内容

伸銅品・アルミニウム型材の製造・販売

(5) 事業の規模（2023年度実績）

主要製品生産量 5,824 t

売上高 5,316 百万円

従業員 125 名

床面積 28,552 m²（本社 28,270m²、大阪 129.09m²、東京 153.35m²）

(6) 事業年度 5月～4月

【認証・登録の対象組織・活動】

登録事業者名：開明伸銅株式会社

対象事業所：全事業所（本社工場・大阪営業所・東京営業所）

活動：伸銅品・アルミニウム型材の製造・販売

【主な環境負荷の実績（全社合計）】

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,910,919	2,795,171	2,880,879
廃棄物排出量	kg	147,643	145,030	171,910
（一般廃棄物排出量）	kg	10,850	11,770	12,987
（産業廃棄物排出量）	kg	136,793	133,260	158,923
水使用量	m ³	5,309	4,178	3,979

※電力の二酸化炭素排出量換算値（全社） 0.318 kg-CO₂/kWh（関西電力2019年度調整後排出係数）

開明伸銅株式会社 EA-21推進組織図

代表者	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し・指示 4. 環境経営レポートの承認 5. 環境経営目標及び環境経営計画の承認				
代表取締役社長 岡村 圭一郎					
環境管理責任者	1. EA21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境経営レポートの作成 5. EA21に関する実績把握と報告 6. EA21環境経営マニュアルの作成				
管理本部 本部長 岩岡 伸一					
EA21事務局	1. EA21責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況の確認 3. 教育・訓練計画の策定、実施 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他、EA21に関する業務 6. 環境経営レポートの発行				
総務課 次長 上道 朱美ほか					
EA21委員会	1. 環境経営目標及び環境経営計画の結果確認 2. EA21に関する審議				
代表者 岡村 圭一郎 EA21員会メンバー					
本社・工場		営業所			
製造本部		管理本部	技術開発本部	営業本部	
伸銅	アルミ			東京営業所	大阪営業所
		1. 環境経営活動の実施 2. 問題点等の是正処置			

【環境経営目標及びその実績：本社工場】

項目		基準値	2023年度 (2023年5月～2024年4月)		2024年度 目標	2025年度 目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ / t	3,456	3,387	3,281	3,352	3,352
	基準年比	2019年	98.0%	94.9%	97.0%	97.0%
	購入量 (kWh)	5,514,652	5,404,359	4,985,798	5,349,212	5,349,212
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂ / t	54.2	43.36	23.10	43.36	43.36
	基準年比	2019年	80.0%	42.7%	80.0%	80.0%
	ガソリン購入量 (L)	952	762	472	762	762
都市ガスによる 二酸化炭素削減	kg-CO ₂ / t	1,931.18	1,911.87	2,061.83	1911.87	1911.87
	基準年比	2019年	99.0%	106.8%	99.0%	99.0%
	購入量 (kg)	456,527	451,962	464,807	451,962	451,962
一般廃棄物の削減	kg/ t	20.04	19.64	25.52	19.64	19.64
	基準年比	2019年	98.0%	127.0%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	10,493	10,283	12,578	10,283	10,283
産業廃棄物の削減	kg/ t	388.0	380.2	322.8	380.2	380.2
	基準年比	2019年	98.0%	83.1%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	196,958	193,019	158,923	178,712	178,712
廃棄物全体の削減	kg/ t	408.04	399.84	348.32	399.9	399.9
	基準年比	2019年	98.0%	85.4%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	207,451	203,302	171,501	188,995	188,995
水道水の削減	m ³ / t	8.75	8.31	8.17	8.31	8.31
	基準年比	2019年	95.0%	90.1%	95.0%	95.0%
	購入量 (m ³)	4,415	4,194	3,979	4,194	4,194
化学物質の購入量把握	kg/ t	67.8	62.4	49.7	62.4	62.4
	基準年比	2019年	92.0%	73.4%	92.0%	92.0%
	購入量 (kg)	34,530	31,768	23,850	31,768	31,768

※ Kg-CO₂/ t 等の表記は生産量トンあたりの原単位を示す。

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO₂/kWhを使用

【環境経営目標及びその実績：東京営業所】

項目 \ 年度		基準値	2023年度 (2023年5月～2024年4月)		2024年度 目標	2025年度 目標
		基準年度	目標	実績	(2023年度 実績に対して)	(2023年度 実績に対して)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,031.0	1,625.0	4,697.0	4,603.0	4,603.0
	基準年比	2019年	80.0%	231.3%	98.0%	98.0%
	購入量 (kWh)	6,386	5,109	14,771	14,476	14,476
一般廃棄物の削減	kg	165.90	162.58	233.80	229.10	229.10
	基準年比	2019年	98.0%	140.9%	98.0%	98.0%
資源ごみの削減	kg	266.90	261.60	127.8	125.20	125.20
	基準年比	2019年	98.0%	47.9%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	432.80	424.18	361.60	354.30	354.30
	基準年比	2019年	98.0%	83.5%	98.0%	98.0%
製品・サービスへの環境配慮 (注1)	売上実績 (kg)	カドミル販売数量 505	カドミル 540	カドミル 432.5	カドミル 540	カドミル 540
	基準年	2020年	106.9%	80.0%	グリーンアルミの 引き合い数把握	グリーンアルミの 引き合い数把握

・2023年6月に営業所を移転し、グループ会社と同じフロアとなったことに伴い、各種使用量に大幅な変更が発生した。

そのため、**次年度は基準年を2023年度に変更する。**

(注1) ・カドミレス材（カドミウム75ppm以下の黄銅棒）

・グリーンアルミ（CO₂排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ）

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO₂/kWhを使用

【環境経営目標及びその実績：大阪営業所】

項目 \ 年度		基準値	2023年度 (2023年5月～2024年4月)		2024年度 目標	2025年度 目標
		基準年度	目標	実績	(2023年度 実績に対して)	(2023年度 実績に対して)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,184.0	876.0	750.0	735.0	735.0
	基準年比	2019年	74.0%	63.3%	98.0%	98.0%
	購入量 (kWh)	3,724	2,756	2,359	2,312	2,312
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	5213.1	3909.8	2931.0	2198.3	2198.3
	基準年比	2019年	75.0%	56.2%	75.0%	75.0%
	ガソリン購入量 (L)	2,246	1,685	1,263	947	947
一般廃棄物の削減	kg	48.00	47.04	21.53	21.10	21.10
	基準年比	2019年	98.0%	44.9%	98.0%	98.0%
資源ごみの削減	kg	170.35	166.90	25.26	24.80	24.80
	基準年比	2019年	98.0%	14.8%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	218.35	213.94	46.79	45.90	45.90
	基準年比	2019年	98.0%	21.4%	98.0%	98.0%
製品・サービスへの環境配慮 (注1)	売上実績 (kg)	カドミル販売数量 505	カドミル 540	カドミル 432.5	カドミル 540	カドミル 540
	基準年	2020年	106.9%	80.0%	グリーンアルミの 引き合い数把握	グリーンアルミの 引き合い数把握

・次年度は基準年度を直近の2023年度とする。

(注1) ・カドミレス材 (カドミウム75ppm以下の黄銅棒)

・グリーンアルミ (CO₂排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ)

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO₂/kWhを使用

【基準年度と今年度実績：全社合計分】

		基準年度	今年度実績
電力による二酸化炭素削減	電力購入量	5,524,762	5,002,928
	(kWh)		90.6%
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン購入量	3,198.0	1,734.7
	(L)		54.3%
	軽油購入量	9,647.0	3,877.0
	(L)		40.2%
都市ガスによる二酸化炭素削減	都市ガス購入量	456,527.0	464,807.0
	(kg)		101.8%
一般廃棄物の削減	廃棄物量	11,144.2	12,986.4
	(kg)		116.5%
産業廃棄物の削減	廃棄物量	196,958.0	158,923.0
	(kg)		80.7%
廃棄物全体の削減	廃棄物量	208,102.2	171,909.4
	(kg)		82.6%
水道水の削減	購入量	4,415.00	3,979.0
	(m ³)		90.1%
化学物質の購入量把握	購入量	34,530.0	23,850.0
	(kg)		69.1%
製品・サービスへの環境配慮	ｶﾞｽ ｼｰﾙ 売上実績	505.0	432.5
	(kg)		85.6%

※本社は生産量あたりの目標で活動していたため、ここでは全社購入量のみ記載。

※各事業所ごとに目標とする削減率は異なる。

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



①電力による削減は目標達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	口上方修正 口下方修正 ■変更なし	
・ホイス故障低減（年間目標8件以下）	×	継続	何とか目標を達成することが出来た。次年度は機械の故障時間を減らせるよう応急処置だけでなく恒久的対策をしっかりと行っていく必要がある。
・伸銅、アルミの歩留向上	△	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・空調機フィルターの定期的な清掃	○	継続	
・TPM活動による故障時間の低減	×	強化	目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 94.9%
・金型製作失敗の低減による歩留の向上	△	継続	
・鑄造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	



関係部署による積極的な意見交換



空調機フィルターの定期清掃



②自動車燃料による削減は目標達成！…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正 口下方修正 ■変更なし	
・フォークリフトの運用時間の管理（伸銅）	○	継続	大きく目標達成することが出来た。次年度も不必要な利用をすることが無いよう心がけ、引き続き管理を継続する。
・フォークリフトの運用時間の管理（アルミ）	○	継続	
・車両の走行距離管理及び効率の良い運行計画	×	継続	
・軽トラックの日常点検の実施	○	継続	目標：基準年度比 80.0% 実績：基準年度比 42.7%
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	



軽トラック日常点検の様子

車種 シエンタ 登録ナンバー 6113

運転履歴						
確認者	確認時間	検点項目の 使用有無	検点 結果	検点項目 （電話番号）	検点事項 その他必要な 事項	走行距離 出庫時 入庫時
川本	9:45	○・無	○	前・後 （左・右）		川本 23443 23450
川本	9:50	○・無	○	前・後 （左・右）		川本 23450 23452
止上道	12:06	前・無	○	前・後 （左・右）		止上道 23452 23457
川本	9:40	前・無	○	前・後 （左・右）		川本 23457 23459
川本	13:55	前・無	○	前・後 （左・右）		川本 23459 23468
大池	9:50	前・無	○	前・後 （左・右）		大池 23468 23469

走行距離数把握の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



③ガス燃料による削減は達成！…×

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
・生産性の向上（伸銅）	○	継続	今年度はアルミビレット加熱炉2基ともに不具合が発生し、目標達成出来なかった。次年度は設備保全を強化し、アルミの生産性、歩留向上に努める。
・歩留の向上（アルミ）	×	強化	
・アルミ生地仕上げ不良率10%以下への挑戦	×	強化	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	目標：基準年度比 99.0% 実績：基準年度比 106.8%
・鑄造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	



伸銅鑄造作業の様子



④一般廃棄物の削減は、目標未達成！…×

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正 □下方修正 ■変更なし	
・分別管理の徹底	○	継続	産業廃棄物に一般廃棄物が混入することのないよう分別強化を図り、一般廃棄物が増加した。次年度は廃棄物量自体を減らせるよう努力するとともに、分別強化を継続する。
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	○	強化	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 127.0%
・5S活動の継続	○	継続	



廃棄物分別の様子①



廃棄物分別の様子②



古紙回収の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



⑤産業廃棄物による削減は目標達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正 口下方修正 ■変更なし	
・分別状況の定期チェック	○	継続	分別の徹底化が進み、目標を達成することが出来た。納入業者に簡易梱包を働きかける、梱包材の再利用を検討する等、更に産廃量減少に向けて努力していく。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 83.1%
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	
・梱包材のリサイクル化の検討	△	強化	
・5S活動の継続	○	継続	



分別状況チェックの様子



⑥水道水の削減は達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	口上方修正 口下方修正 ■変更なし	
・日常的な節水の励行	○	継続	配管の老朽化による水漏れが数件発生したが早期発見により目標達成することが出来た。今後も水量変化などを注視し、早めの対策を心がける。 目標：基準年度比 95.0% 実績：基準年度比 93.4%
・クーリングタワー設備の管理徹底	○	継続	
・酸洗機の水量管理の徹底	○	継続	
・老朽化による水漏れの点検	△	継続	



お天気がいいのに
地面が濡れている！

水漏れ箇所の地面の様子



水漏れ箇所修理の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



⑦化学薬品購入量の削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
・詰めダイス率の向上	◎	継続	詰めダイス率の向上など、継続的な活動により、目標達成することが出来た。今期よりアルミの生産量が増加しているため、今後は苛性ソーダの使用量に注意しながら活動する。 目標：基準年度比 92.0% 実績：基準年度比 73.4%
・苛性ソーダの再利用促進	○	継続	
・酸洗い機の硫酸使用量削減（伸銅）	△	継続	
・水処理施設の適正管理	△	継続	

化学物質 令和5年5月～令和6年4月（今年度）									
62.5%硫酸は1本につき28kg									
	62.5%硫酸	濃硫酸	塩化第二鉄液	濃硫酸	小計濃硫酸 50050	パル管性 水	濃硫酸	アルミソーダ	日星産業金鋼 50244
5月		0		0		1,000	1,000	25	25
6月	30	840		0	¥35,937	1,000	1,000	25	25
7月		0		0		2,000	2,000	50	50
8月		0	2,040	2,040	¥107,712	1,000	1,000	25	25
9月	30	840		0	¥35,937	2,000	2,000	50	50
10月		0		0		1,000	1,000	25	25
11月		0		0		2,000	2,000	50	50
12月		0		0		2,000	2,000	50	50
1月	30	840		0	¥35,937	1,000	1,000	25	25
2月		0		0		2,000	2,000	50	50

購入量把握の様子



水処理施設の様子



2ヵ月に1回開催しているエコアクション委員会の様子（東京と大阪はテレビ会議システムで出席）

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

東京

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



①電力による削減は、目標達成…×

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
・未使用箇所の電灯チェック	○	継続	東京営業所が移転し、グループ会社と同じフロアとなったため、基準年度との数値比較が難しくなった。次年度は基準年度を2023年に変更する。 目標：基準年度比 80.0% 実績：基準年度比 231.3%
・エアコンのこまめな温度管理	○	継続	
・エアコンフィルターの定期清掃	×	継続	



移転先の東京営業所ビル外観



エアコン温度のこまめな調整



②廃棄物の削減は、目標達成…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
・分別管理の徹底	○	継続	東京営業所が移転した際に廃棄物が一時的に増加したが、その後は落ち着いたため、目標達成した。次年度は基準年度を2023年に変更する。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 83.5%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	



④製品・サービスへの環境配慮は、目標達成…△

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■変更なし	
・環境製品の積極的な販売	×	継続	カドミレス販売量は目標未達となったが、今年度はカーボンニュートラル委員会を立ち上げ、CO2排出量の現状把握を行うことにより、カーボンニュートラルに対する理解が深まった。次年度は炭素会計アドバイザー資格の取得を通して、更に知識を深めたい。 目標：カドミレス販売量 505.0kg/年 実績：カドミレス販売量 432.5kg/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見取り	○	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	△	継続	

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



①電力による削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正 口下方修正 ■基準年度見直し	
・残業時間削減の取組み	△	継続	大阪営業所はサテライト化し、事務所の利用頻度が減少したことで目標達成した。次年度は基準年度を直近の2023年度に変更する。 目標：基準年度比 74.0% 実績：基準年度比 63.3%
・エアコンフィルターの定期清掃	△	継続	
・祭日等の営業所閉鎖日（本社へ出勤）の設定	○	継続	



エアコンの設定温度管理



エアコンフィルターの定期清掃



②自動車燃料による削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正 口下方修正 ■基準年度見直し	
・効率の良い運行計画の実施	○	継続	社用車で営業先に出かけることも増えたが、エコドライブを心掛け、ハイブリッドの新車に買い替えを行ったこと等で、目標達成した。次年度は基準年度を直近の2023年度に変更して活動する。 目標：基準年度比 75.0% 実績：基準年度比 56.2%
・走行距離数の把握	○	継続	
・営業車の走行設定をエコにする	○	継続	
・ハイブリッド車への買い替え	○	終了	



【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

＜ ◎良く出来た ○まあまあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった＞



③廃棄物の削減は、目標達成！…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正 口下方修正 ■基準年度見直し	
・ゴミ廃棄メモの管理	○	継続	大阪営業所をサテライト化し、営業所の利用頻度が減少したことで目標達成した。次年度は基準年度を直近の2023年度に変更する。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 21.0%
・分別状況の定期チェック	△	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	継続	



ゴミ箱を色分けして分別



会議資料のペーパーレス化



④製品・サービスへの環境配慮は、目標達成…△

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	△	口上方修正 口下方修正 ■変更なし	
・環境製品の積極的な販売	×	継続	カドミレス販売量は目標未達となったが、今年度はカーボンニュートラル委員会を立ち上げ、CO2排出量の現状把握を行うことにより、カーボンニュートラルに対する理解が深まった。 次年度は炭素会計アドバイザー資格の取得を通して、更に知識を深めたい。 目標：ｶﾄﾞﾐｽﾞ販売量 505.0kg/年 実績：ｶﾄﾞﾐｽﾞ販売量 432.5kg/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見積り	○	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	△	継続	



黄銅異形中空棒 ミトーセル®

カドミウム75ppm以下黄銅棒の化学成分

会社番号	名称	化学成分(%)						
		Cu	Pb	Fe	Se	Al	Zn	Cd
C3604(C61)	C3604	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sn 1.0以下	—	熱型	75ppm以下
C3771(C61)	C3771	57.0~61.0	1.0~2.5	—	Fe+Sn 1.0以下	—	熱型	75ppm以下
KS-B/C	KS-B	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sn 1.2以下	2.0以下	熱型	75ppm以下
KS-H/C	KS-H	56.0~60.0	2.5以下	—	Fe+Sn 1.2以下	2.0以下	熱型	75ppm以下
KS-R/C	KS-R	54.0~60.0	3.0以下	Mn+Ni+Fe+Sn 2.5以下	—	2.5以下	熱型	75ppm以下

【環境活動や地域社会への活動紹介】



亀岡市にある関西盲導犬協会への募金を募ったり企業として寄付の継続を行っています。

以前「盲導犬クイールの一生」という映画では亀岡市が撮影場所になりました。亀岡市にある企業として、これからも盲導犬育成のお手伝いできればと思います。



サッカーチーム、京都パープルサンガさんを企業サポーターとして応援しています。

亀岡駅隣のサンガスタジアムで試合がある時は、大盛り上がりです！京都ゆかりのチームの活躍をみんなで応援しています！



SDGsの一環で、今年度は「ウォーターエイドジャパン」に寄付を行いました。

小さな活動ですが、幼い子供たちが過酷な水汲みから解放され、安心して水を飲める、そんな当たり前の日常が過ごせるようお手伝いをしています。



会社でペットボトルのキャップを集めています。

この活動を通して世界の子供達を病気から守るお手伝いできればと思います。自動販売機の横に専用のゴミ箱を置き、キャップだけが入るよう工夫しました。飲料メーカーさんが、回収に協力下さっています。

開明伸銅 株式会社

SDGs宣言書

SDGsが掲げる目標達成に向け、下記のとおり宣言いたします

SDGsとは、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。
「誰一人取り残されない」世界の実現に向け、2030年までに達成すべき17の目標と、
169のターゲットが定められています。

取り組みテーマ

具体的取り組み

SDGs目標

地球環境に配慮した モノづくり

非鉄金属製造会社として、「環境経営方針」を遵守し、地球環境に配慮したモノづくりを行ってまいります。

【主な取組】

- ・人や環境に配慮した黄銅異形中空棒「ミトーセル」の開発
- ・エコアクション21の認証継続
- ・CO2排出量の把握と削減に向けた具体的な取組の実施



全ての従業員が 輝ける会社づくり

ワークライフバランスの実現と、全ての従業員が能力を十分に発揮できるような職場づくりを行ってまいります。

【主な取組】

- ・階層別教育の継続実施
- ・男性従業員の育児休暇取得の積極的な推奨
- ・「クレド」の配布や会議を通じた従業員との経営理念の共有
- ・女性活躍推進の取組み



地域社会との 共存共栄

私たちは、京都に生まれ、京都で育った企業として、地域社会との共存共栄のために、さまざまな活動を行ってまいります。

【主な取組】

- ・地元の学校からの社会見学や就業体験の受け入れ
- ・各種関係団体への寄付
- ・地元人材の雇用や近隣企業の積極的な利用



【カーボンニュートラル委員会の活動】

今年度は外部の講師にお願いし、1年を通してカーボンニュートラルの基礎を学びました。

まずは現状把握の方法を学び、自社が製品を1トンあたり出荷するのに、どれぐらいの炭酸ガスを排出しているかを計算してみました。

開明伸銅株式会社

生産量 (トン) 5,823.6

2023年度

炭酸ガス排出量

Scope	カテゴリー	内容	排出量(t)	出荷1tあたり排出量
1		自社 直接排出	1,293.98	0.222
2		エネルギー起源の間接排出	1,557.99	0.268
3	1	購入した製品・サービス	45,344.18	7.786
	2	資本財	245.32	0.042
	3	Scope1・2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	608.95	0.105
	4	輸送、配送 (上流)	2,750.04	0.472
	5	事業から出る廃棄物	27.46	0.005
	6	出張	15.73	0.003
	7	雇用者の通勤	35.60	0.006
	8	リース資産 (上流)	0.00	0.000
	9	輸送、配送 (下流)	12.16	0.002
	10	販売した製品の加工		
	11	販売した製品の使用	-	-
	12	販売した製品の廃棄	36.66	0.006
	13	リース資産 (下流)	-	-
	14	フランチャイズ	-	-
	15	投資	-	-
その他			-	-
合計			51,928.1	8.917



炭素会計アドバイザー

資格試験対策テキスト

2023
3級

カーボンニュートラル委員会、エコアクション委員会、営業本部のメンバーは、「炭素会計アドバイザー資格3級」の資格取得を目指して勉強しています！

【環境関連法規等の遵守状況と違反、指摘の有無】

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（油水廃油、廃アルカリ汚泥、金属屑他） （廃棄物の削減、適正処理、定められた業者への委託、廃棄物管理表の交付及び報告等） 特別産業廃棄物（多量排出者削減計画の提出、電子マニフェストの利用）	○
家電リサイクル法	ブラウン管、液晶、プラズマ式テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、ユニット型エアコン （特定家庭用機器の長期間の使用による廃棄物抑制、廃棄時の適正処理）	○
小型家電リサイクル法	使用済小型家電等（電話、ファックス、携帯電話、映像用機械器具、プリンターほか） （分別廃棄の徹底、適正事業者への引き渡し）	○
自動車リサイクル法	営業車、運送用2tトラック （廃棄時の適正業者への引き渡し、リサイクル料金の支払い）	○
省エネ法	電気、灯油、ガソリン、LPG等 （エネルギー使用量の削減、使用状況等の報告）	○
騒音・振動規制法	切断機、コンプレッサー、ブレーキプレス、シャーリング （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
消防法	作動油、灯油、塗料の貯蔵 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管、危険物取扱主任者の選任等）	○
下水道法	重金属処理 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管等）	○
大気汚染防止法	金属溶解炉 （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷蔵庫、冷凍機 （簡易点検の実施、定められた回収業者への委託等）	○
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ、硫酸の貯蔵 （貯蔵場所の表示、容器への表示、作業員への取扱注意喚起等）	○
工場立地法	特定工場の届出 （適正な届出）	○
労働安全衛生法	作業主任者、衛生管理者、産業医の配置 （各有資格者の選任、健康診断・メンタルケアの実施、化学物質リスク管理の実施、教育等）	○
公害防止組織法	特定工場の届出 （公害防止統括者、公害防止管理者の選任、届出等）	○
化学物質管理法 （PRTR制度）	第二塩化鉄液 （適正な届出）	○

環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、近隣からの訴訟等は過去3年間ありません。

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

【変更の必要性の有無・指示事項】

①環境経営方針 変更の必要性： ☐あり ☒なし

②実施体制 変更の必要性： ☐あり ☒なし

③環境活動目標、活動計画 変更の必要性： ☒あり ☐なし

東京営業所及び大阪営業所の基準年度を、2023年度に変更する。

【代表者による総括】

- ・達成状況にて×の項目について特殊状況であったことは理解しますが、特殊状況を除いた場合において達成可能であったか検証願います。
- ・次年度は取引先各社もカーボンニュートラルの取り組みを更に進める企業が増加していきます。その問い合わせに対応できるように、炭素会計アドバイザー資格取得者の人数確保をお願いします。
- ・化学物質管理者選任の件についても、一人に頼るのではなく、これを理解できている社員の総数を増やしていきましょう。
(誰か一人が居ないと出来ない環境とならないようにしてください。)

開明伸銅株式会社

代表取締役 岡村 圭一郎